

4356 **小さな冒険：敦賀～小浜～長浜～彦根～京都** ⑤

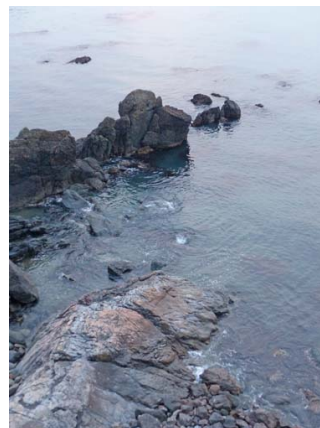
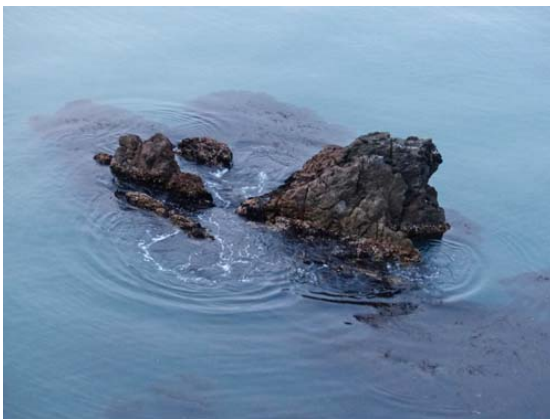
小浜湾、帰路にも、懲りずに、飽きもせず、画像記録。暗くなる寸前。
犬も歩けば、棒にあたる。寝ていてはこけない。立って歩くから、つまずきもする。

気力が^{おとろ}萎えたら、良くも悪くも、結果は得られない。能力×気力＝

気力が**ゼロ**では、掛け算の答えは、**ゼロ**と言い聞かせて、
言わば、無駄の積み重ね。人様に迷惑をかけないなら大丈夫。自律に自立と言い聞かす。

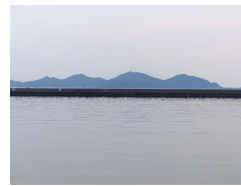
しかし、何でもない眼前の自然が、パワーくれるから不思議。

物音ひとつしない。ただ、寄せる波、返す波で、違う、かすかな波のささやき。



せっかくの機会を生かす。帰路も飽きずに画像記録。名残が尽きない。
やがて、家々に明かりがつきだした。沖の島影に漁火^{いさりび}を目撃。これもまた、風情。
今置かれている環境や状況では、誰も文句は言わないが、切りがない。

昔、ある子供が、川面^{かわも}を、しばらく眺めて見ていたら、
母親が、何かしていたでしょうと、子供は、ただ、川面を見ていただけなのに・・・
大人にはわからない？ そんな話を思い出した。素直な心を持てる幸せ。



オープンしている店もあったが、コロナの危険回避意識が脳裏にあった。
スーパーマーケットのイオンモールは、営業中だったので、食事や飲み物を購入して、
街の様子を観察のためひとまわり。灯りがついているお店は少ない。
コロナの影響は、かなり意識されている様子。宿泊ホテルは3年前に訪ねていたらしい。
電話番号で記録が残っていた。ご主人から、HP見ましたと、嬉しい第一声。

明日は早立ち。声をかけず、出発しますと・・・